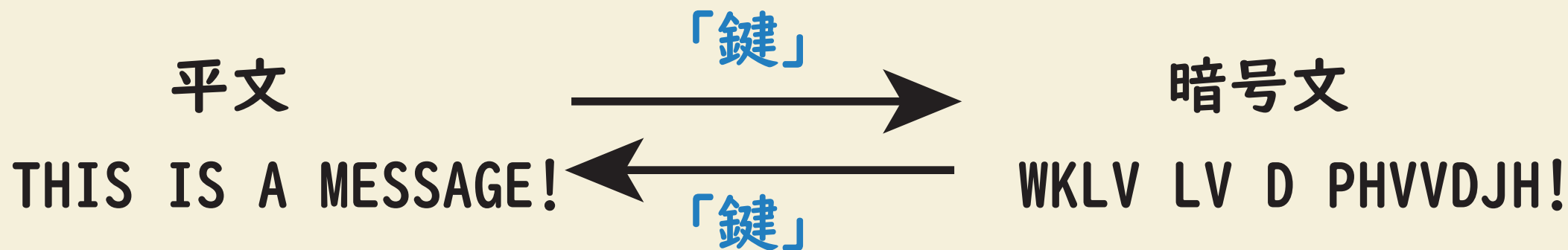


CTF 入門 RSA 暗号

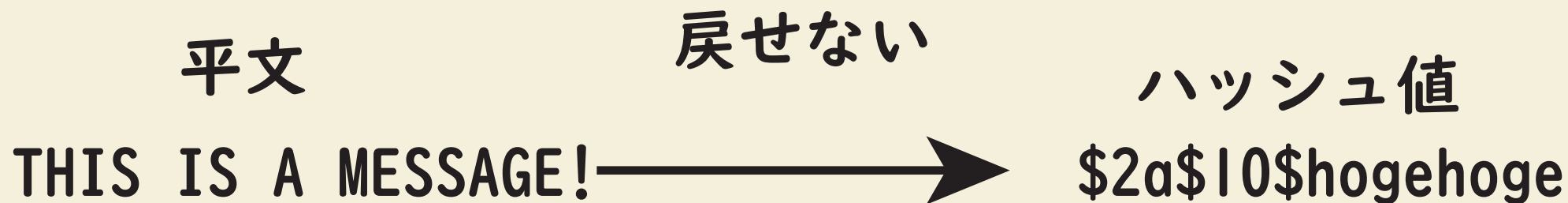
素因数分解されると危険!?

暗号化って？

暗号化



ハッシュ化



対称鍵暗号と公開鍵暗号

対称鍵暗号

平文

THIS IS A MESSAGE!

「鍵」

「鍵」

暗号文

WKLV LV D PHVVDJH!

公開鍵暗号

平文

This is Message!

暗号化専用鍵

復号専用鍵

暗号文

l298579a183e75983

公開鍵暗号はなぜ必要？

marroly



通信の傍受



Alice



秘密の通信がしたい



Bob

公開鍵暗号はなぜ必要？

marroly



通信の傍受



Alice



秘密の通信がしたい



Bob

暗号化しよう！！！！

もしこの世に対称鍵暗号しかなければ

対称鍵暗号の世界

ふむふむこれが鍵か
暗号文全部解読できるじゃんw

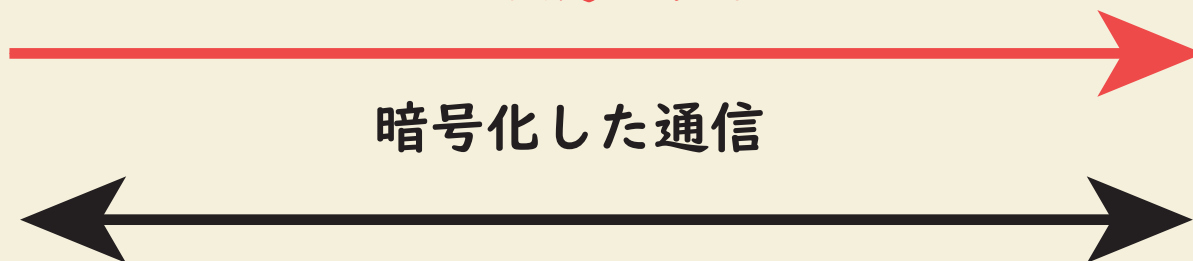


こちら鍵です！

暗号化した通信



Alice



Bob

もしこの世に対称鍵しかなければ

ば鍵か

売できるじゃんw

対称鍵問題

鍵を秘密裏に渡す必要がある！

（鍵配送問題）



Alice



Bob

公開鍵暗号のすごいところ

暗号化専用鍵

復号専用鍵



Alice

暗号文を作れるし、
暗号文を解読できる

暗号化専用鍵



Bob

暗号文を作れる
暗号文は解読できない

(盗聴)

暗号化専用鍵



marroly

暗号文は作れる
暗号文は解読できない

Bob の暗号文は、Alice 以外に解読できない



Alice

暗号文を作れるし、
暗号文を解読できる



Bob

暗号文を作れる
暗号文は解読できない



marroly

暗号文は作れる
暗号文は解読できない

公開鍵暗号を使った鍵交換



暗号化専用鍵

暗号化された「対称鍵」

鍵は入手できたけど
復号用の鍵を持って
ないから復号できない…

実は今非推奨

暗号化専用鍵

復号専用鍵



Alice

暗号化専用鍵です！

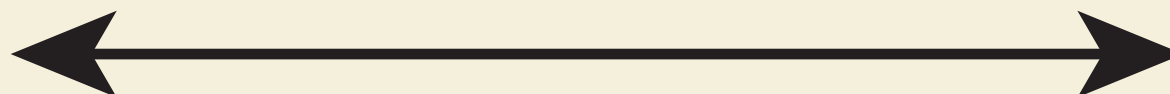
これで「対称鍵」を送ってください！



暗号化専用鍵で「対称鍵」を暗号化しました！



「対称鍵」で暗号化した通信



暗号化専用鍵



Bob

なぜ公開鍵と対称鍵を一緒に使うの？

公開鍵暗号だけで良くない？

公開鍵暗号は、対称鍵暗号に比べて「遅い」

公開鍵暗号は一方的。

公開鍵暗号はあんまりゴリゴリ使いたくない。

復号専門



Alice

暗号専門



Bob

なぜ「公開鍵」というの？

公開する用の鍵を公開鍵

自分だけ持っておく用の鍵を秘密鍵という

暗号化専用鍵（公開鍵）

復号専用鍵（秘密鍵）

暗号化専用鍵（公開鍵）

暗号化専用鍵（公開鍵）



Alice



Bob



marroly

注意

「RSA 暗号を用いた電子署名」では、
ちょっと違う感じになります。

ごちゃごちゃになるので、今日は
説明しません。

独学をするときは、信頼できる記事で勉強してね！

(Plain) RSA 暗号

m : 平文

c : 暗号文

暗号化用の鍵: (e , n)

$$c = m^e \mod n$$

復号用の鍵: (d , n)

$$m = c^d \mod n$$

この式が成り立つように e , d , n を頑張って作る!

(Plain) RSA 暗号の例

$m=5$ を暗号化する

$$n = 91$$

$$e = 5$$

$$d = 29$$

$$m = 5$$

$$c = 31$$

$$c = m^e \mod n$$

$$m = c^d \mod n$$

```
>>> (5 ** e) % n
31
>>> (31 ** d) % n
5
>>>
```

(Plain) RSA 暗号の例

$$n = 91$$

$$e = 5$$

~~$$d = 29$$~~

~~$$m = 5$$~~

$$c = 31$$



盗聴者が得られる情報

$$31 = m^3 \mod 91$$

ここから m を求める効率の良いアルゴリズムは知られていない。

参考：ポラード・ローの離散対数アルゴリズムという手法で、 $O(\sqrt{n})$

(Plain) RSA 暗号の例

$$c = m^e \mod n$$
$$m = c^d \mod n$$

ではどうやってこの式が成り立つような
 e, d, n を求めるのか？

RSA 暗号の e, d, n の求める手順

1. 2つの素数 p, q を作る
2. $n = p \times q$ とする
3. $\phi(n) = (p - 1) \times (q - 1)$ を求める
4. e を 大きすぎず、小さすぎない、
 $\phi(n)$ と互いに素な値に設定する
(65537 がよく使われる)
5. $d = e^{-1} \pmod{\phi(n)}$ を求める

note:

n は

$$2^{1024}$$

$$2^{2048}$$

オーダーの数字

2つの素数 p, q を作る

1. 2つの素数 p, q を作る

1. 1. 適当に乱数を生成して

1. 2. それが素数かどうか判別する！

適当な乱数が素数である確率

素数定理

1 から n までの素数を $\pi(n)$ とおくと
 n が十分大きいとき

$$\pi(n) \approx \frac{n}{\log n}$$

n が素数である確率は、だいたい

$$\frac{1}{\log n}$$

適当な乱数が素数である確率

n が素数である確率は、だいたい

$$\frac{1}{\log n}$$

$n = 2^{512}$ で 2.8% くらい

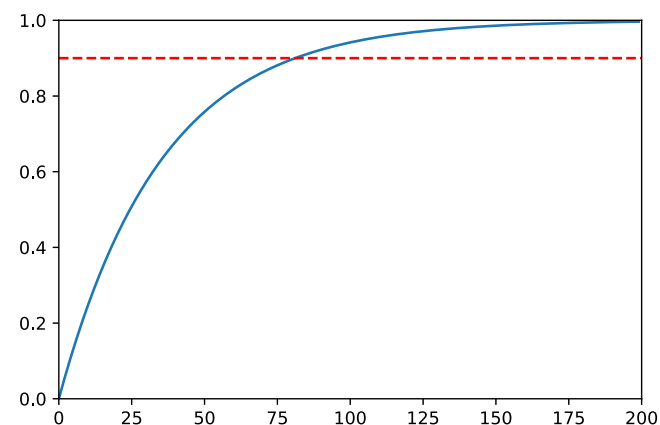
$n = 2^{1024}$ で 1.4% くらい

適当な乱数が素数である確率

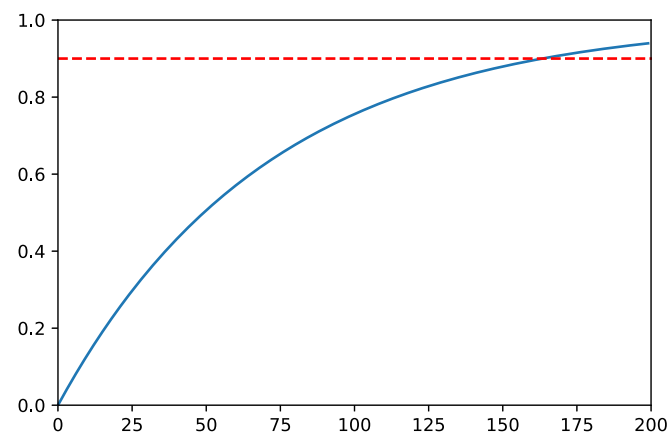
200 回くらい乱数
生成すれば
90% 以上で素数

素数になる確率

$$n = 2^{512}$$



$$n = 2^{1024}$$



回数

ミラーラビンの素数判定法

というアルゴリズムを使用する

1回で $3/4$ くらいの確率で、高速に正しく判定してくれる。

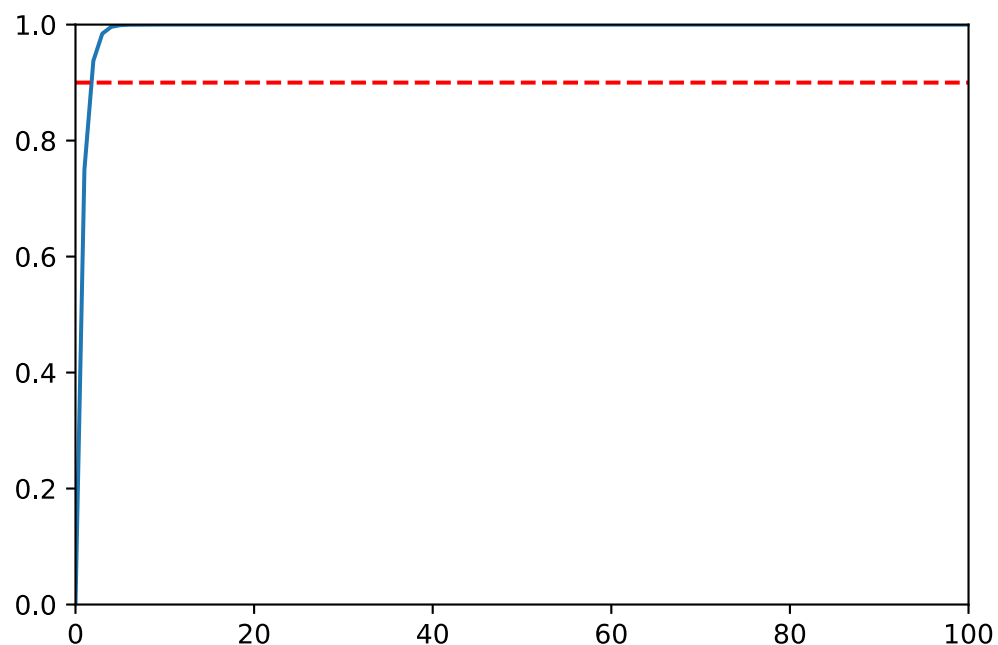
たくさん回して、高い確率で素数判定をする。

2^{1024} とかに対して、エストラテネスの篩 $O(N \log \log N)$ は厳しい

ミラーラビンの素数判定法

10 回ですでに 99.9999046% 成功する

成功率



回数

本当にこんな方法が使われてるの？

OpenSSL ではもうちょい複雑な実装になってました

openssl/crypto/bn/bn_prime.c

```
156     /* make a random number and set the top and bottom bits */
157     if (add == NULL) {
158         if (!probable_prime(ret, bits, safe, mods, ctx))
159             goto err;
160     } else {
161         if (!probable_prime_dh(ret, bits, safe, mods, add, rem, ctx))
162             goto err;
```

```
319
320     /*
321     * Refer to FIPS 186-4 C.3.2 Enhanced Miller-Rabin Probabilistic Primality Test.
322     * OR C.3.1 Miller-Rabin Probabilistic Primality Test (if enhanced is zero).
323     * The Step numbers listed in the code refer to the enhanced case.
324     *
325     * if enhanced is set, then status returns one of the following:
326     *     BN_PRIMESTEST_PROBABLY_PRIME
327     *     BN_PRIMESTEST_COMPOSITE_WITH_FACTOR
328     *     BN_PRIMESTEST_COMPOSITE_NOT_POWER_OF_PRIME
329     * if enhanced is zero, then status returns either
330     *     BN_PRIMESTEST_PROBABLY_PRIME or
331     *     BN_PRIMESTEST_COMPOSITE
332     *
333     * returns 0 if there was an error, otherwise it returns 1.
334     */
335     int bn_miller_rabin_is_prime(const BIGNUM *w, int iterations, BN_CTX *ctx,
336                                 BN_GENCB *cb, int enhanced, int *status)
337     {
```

素数っぽい

ランダムな数を

作るっぽい関数

ミラーラビンを

呼んでるっぽい場所

調査中
信用しないでね

n を求めよう

2つの素数が求まったので、
n を求めることができるようになった！

$$n = p \times q$$

e, d, n

RSA 暗号の e, d, n の求める手順

1. 2つの素数 p, q を作る
2. $n = p \times q$ とする
3. $\phi(n) = (p - 1) \times (q - 1)$ を求める
4. e を 大きすぎず、小さすぎない、
 $\phi(n)$ と互いに素な値に設定する
(65537 がよく使われる)
5. $d = e^{-1} \pmod{\phi(n)}$ を求める

オイラーの ϕ 関数、オイラーの定理

オイラーの ϕ 関数

$\phi(n)$: $1 \sim n$ までの整数で、 n と互いに素
となるものの個数

例えば... $n=6$ のときは

$1, 2, 3, 4, 5, 6$ なので... $\phi(n) = 2$

オイラーのφ関数、オイラーの定理

オイラーの定理

a と n を互いに素な整数とすると

$$a^{\phi(n)} \equiv 1 \pmod{n}$$

n が素数のとき、

$$a^{n-1} \equiv 1 \pmod{n} \quad (\text{フェルマーの小定理})$$

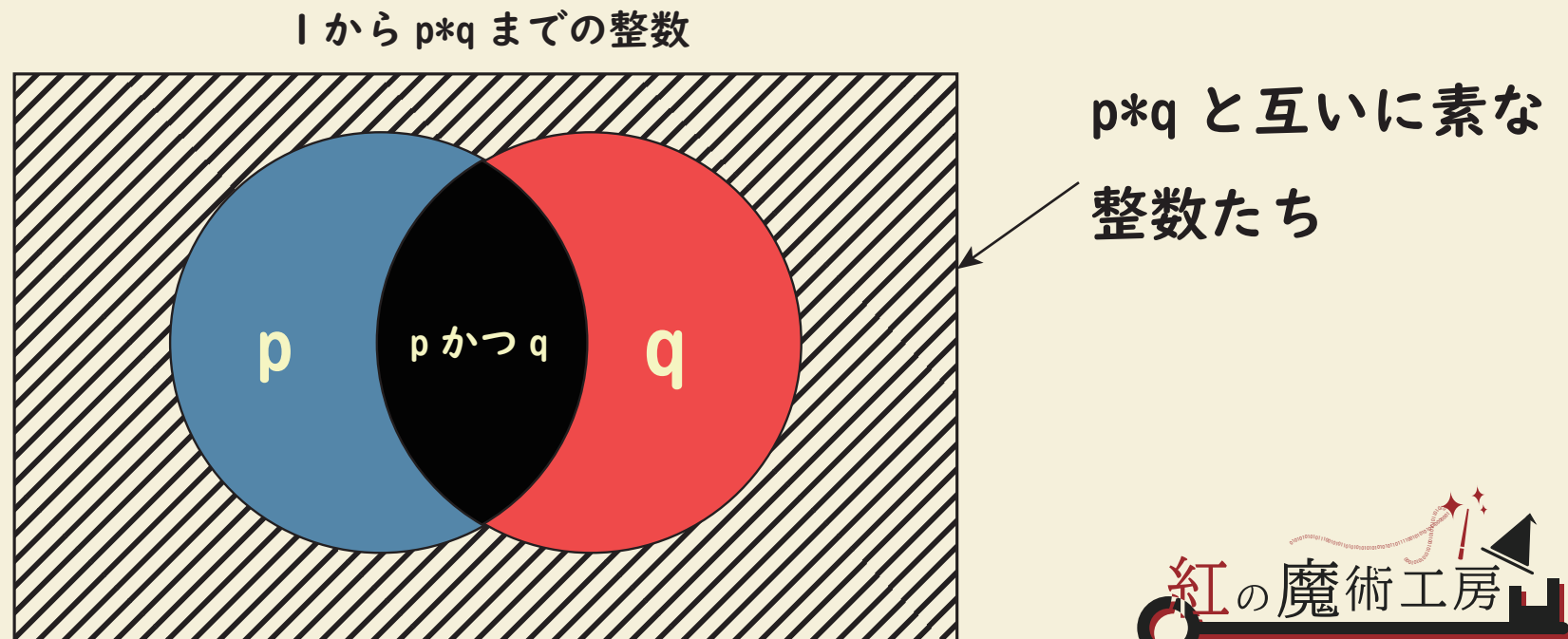
演習 : n が素数のときのオイラーのφ関数を求めてみて
本当に↑の式が成り立つか確かえめてみよう

n が p*q のときの ϕ 関数

ϕ 関数は p*q と互いに素な値の個数

\Leftrightarrow すべての個数 - p の倍数の個数 - q の倍数の個数 + p の倍数かつ q の倍数の個数

$$\begin{aligned}\phi(n) &= pq - q - p + 1 \\ &= (p - 1)(q - 1)\end{aligned}$$



RSA 暗号の e, d, n の求める手順

1. 2つの素数 p, q を作る
2. $n = p \times q$ とする
3. $\phi(n) = (p - 1) \times (q - 1)$ を求める
4. e を 大きすぎず、小さすぎない、
 $\phi(n)$ と互いに素な値に設定する
(65537 がよく使われる)
5. $d = e^{-1} \pmod{\phi(n)}$ を求める

e はなぜ小さすぎてはダメなのか？

$$c = m^e \bmod n$$

e=3, n=91, m=2 とすると…？

$$8 = m^3 \bmod 91$$



3 乗して 8…？

2 では…？

e はなぜ小さすぎてはダメなのか？

$$c = m^e \mod n$$

e=3, n=91, m=2 とすると…？

$$8 = m^3 \mod 91$$

離散対数問題を難しくするためには
mod でくるくるさせる必要がある。

e は何故大きすぎてはいけないのか？

次回以降
説明

e が大きくなると、d が相対的に小さくなる

Winer' s Attack という
攻撃が刺さってしまう

e がなぜ $\phi(n)$ と互いに素なのか？

次のステップのこれを求めるため。

$$d = e^{-1} \mod \phi(n)$$

オイラーの定理を使った方法：今日の資料

ユークリッドの互除法を使った方法：

【CTF 入門】乱数の次の値を予測する | 【Crypto】

どちらの方法でも、e と $\phi(n)$ は
互いに素でなければならない。

e はなぜ 65537 なのか？

1. 素数だから
2. 2進数で表したときに `0b1000000000000000000001` となり、立っている bit が少ないから

e はなぜ 65537 なのか？

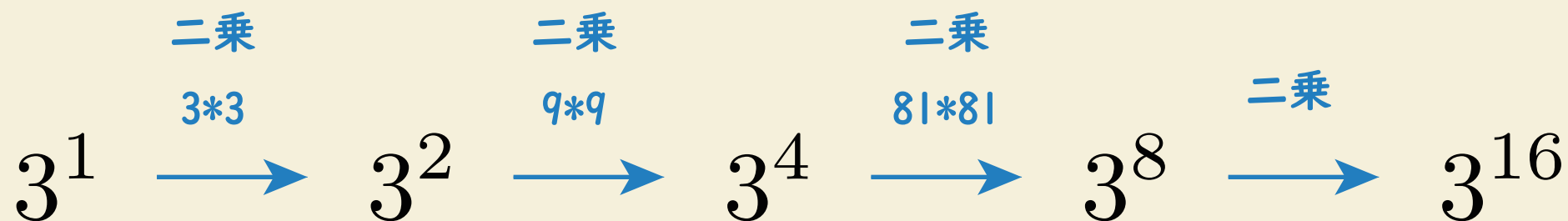
逆数が求めやすそう

1. 素数だから

2. 2進数で表したときに 0b10000000000000000000000001 となり、
立っている bit が少ないから

????????

繰り返し二乗法



3^{16} を求めるのに 4 回の計算でできた！

倍々になっていくので、 $\mathcal{O}(\log N)$

繰り返し二乗法

3^{22} はどうやって求めるのか？

22 を 2 進数表記して 0b10110 ($2^1 + 2^2 + 2^4$)

$$3^{22} = 3^{2^1+2^2+2^4} = 3^{2+4+16} = 3^2 \times 3^4 \times 3^{16}$$

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{二乗} & & \text{二乗} & & \text{二乗} & & \text{二乗} \\ & 3*3 & & 9*9 & & 81*81 & & \\ 3^1 & \longrightarrow & 3^2 & \longrightarrow & 3^4 & \longrightarrow & 3^8 & \longrightarrow & 3^{16} \end{array}$$

繰り返し二乗法

1. 2進数変換する：0b10110

|

0

|

|

0

繰り返し二乗法

1. 2進数変換する：0b10110

1 0 1 1 0

2. bit 数分 2 乗する



繰り返し二乗法

1. 2進数変換する：0b10110

1 0 1 1 0

2. bit 数分 2 乗する



3. 掛け算する

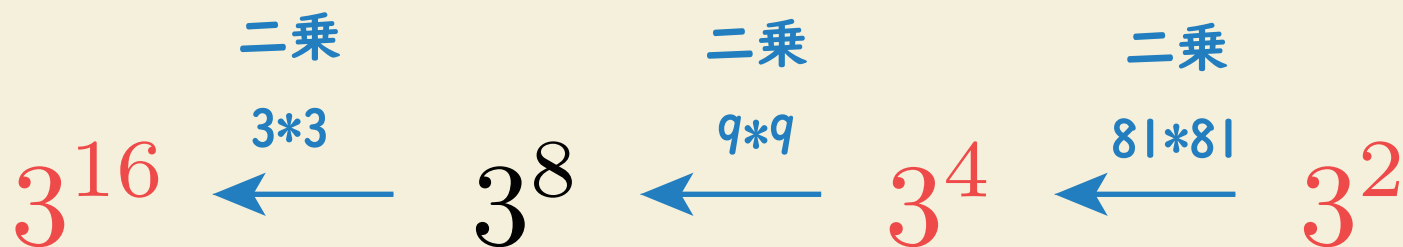
3^{22}

繰り返し二乗法

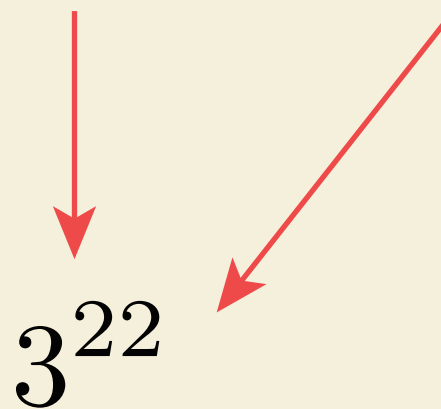
1. 2進数変換する：0b10110

| 0 | | 0

2. bit 数分 2 乗する



3. 掛け算する



memo

2進数表記で
1の数が少ないと
最後の掛け算の
回数が少なくなる
から速い

Python における pow

$\text{base}^{\text{exp}} \% \text{mod}$ を求めてくれる関数がデフォルトで存在する

pow(*base*, *exp*[, *mod*]) ¶

Return *base* to the power *exp*; if *mod* is present, return *base* to the power *exp*, modulo *mod* (computed more efficiently than `pow(base, exp) % mod`). The two-argument form `pow(base, exp)` is equivalent to using the power operator: `base**exp`.

ref) <https://docs.python.org/ja/3/library/functions.html>

Python における pow

```
/* Left-to-right 5-ary exponentiation (HAC Algorithm 14.82) */
Py_INCREF(z);          /* still holds 1L */
table[0] = z;
for (i = 1; i < 32; ++i)
    MULT(table[i-1], a, table[i]);

for (i = Py_SIZE(b) - 1; i >= 0; --i) {
    const digit bi = b->ob_digit[i];

    for (j = PyLong_SHIFT - 5; j >= 0; j -= 5) {
        const int index = (bi >> j) & 0x1f;
        for (k = 0; k < 5; ++k)
            MULT(z, z, z);
        if (index)
            MULT(z, table[index], z);
    }
}
```

base³¹ まで 求める

下位 5bit を求める

5bit 分まとめて
掛け算する

0 のときは掛け算しない

繰り返し二乗法

0b 10 | 000000 | 000000 | 000001

2進数で、5bit ずつ区切って、0のみの部分は掛け算しない。

Python の Pow でも速い！

e は 65537 固定でも安全？

安全。e はもともと公開する情報で、
RSA 暗号は離散対数を求めるのが難しい
ことが前提になっているので問題ない。

d の求め方

d はなぜこの式でいいの？

$$d = e^{-1} \mod \phi(n)$$

暗号化したり復号化したりするときは、mod n の世界なのに！！！！

暗号化

$$c = m^e \mod n$$

復号化

$$m = c^d \mod n$$

d の求め方

暗号化 $c = m^e \pmod n$

復号 $c^d \pmod n$

$$d = e^{-1} \pmod{\phi(n)}$$

$$\text{ということは... } de = 1 \pmod{\phi(n)} = X\phi(n) + 1$$

$$\begin{aligned} c^d &= (m^e)^d = m^{ed} = m^{X\phi(n)+1} = m^{X\phi(n)} \times m \\ &= \left(m^{\phi(n)}\right)^X \times m = 1^X \times m = m \pmod n \end{aligned}$$

オイラーの定理！

あれ？ e と d っって入れ替えても良くない？

$$c = m^d \mod n$$

$$c^e \mod n$$

$$c^e = (m^d)^e = m^{ed} = m \mod n$$

e に比べて、基本的に d はめっちゃめっちゃ大きい

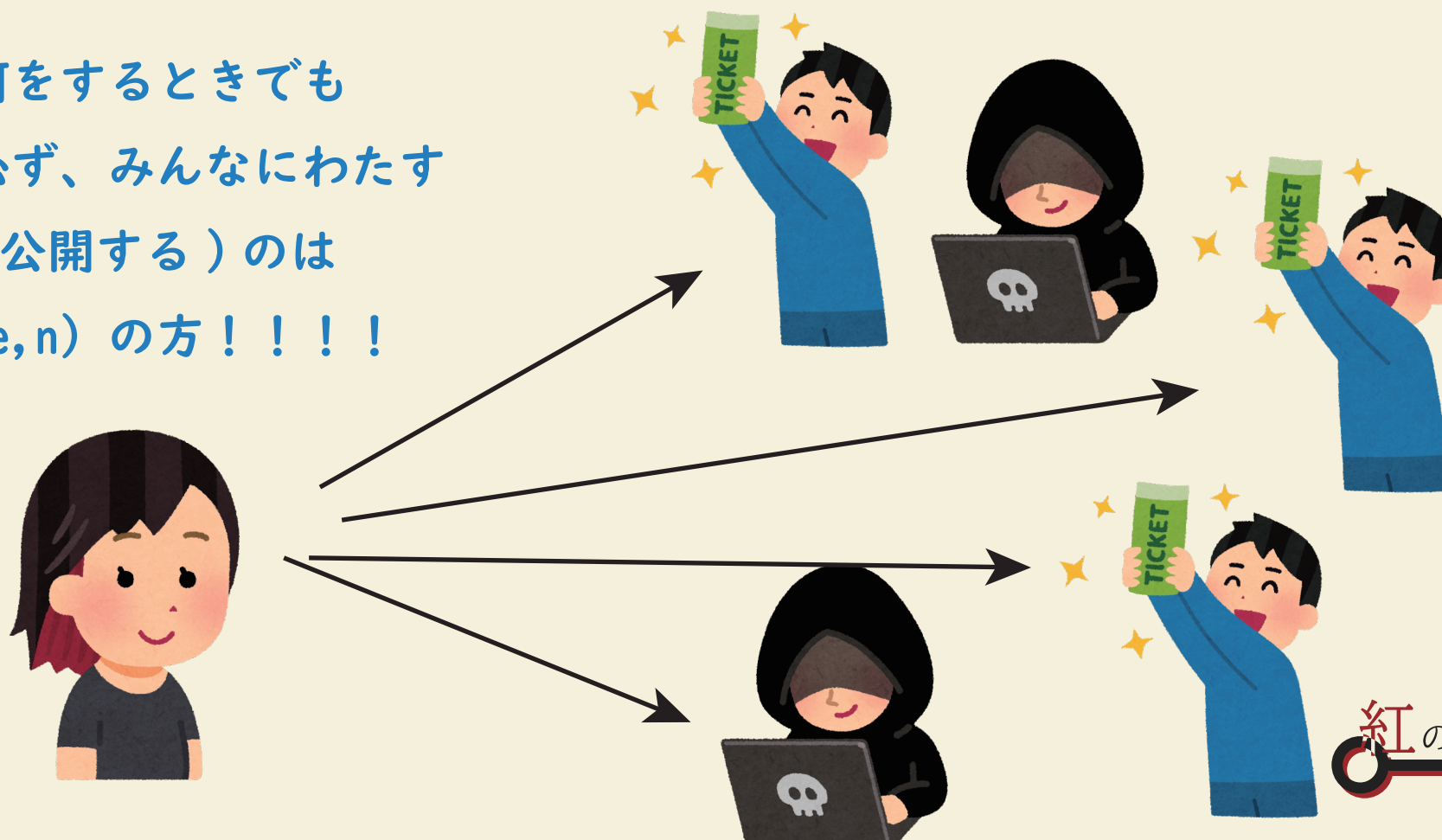
→ 大きな公開鍵の値で暗号化することになる

→ Winer' s Attack が刺さる！

覚えていてほしいこと

d(秘密鍵) から e(公開鍵) は求められるけど
e(公開鍵) から d(秘密鍵) は求められない。

何をするときでも
必ず、みんなにわたす
(公開する) のは
(e, n) の方 ! ! ! !



一回やってみよう！

1. 2つの素数 p, q を作る

$$p = 7$$
$$q = 13$$

2. $n = p \times q$ とする

$$n = 91$$

3. $\phi(n) = (p - 1) \times (q - 1)$ を求める

$$\phi(n) = (p - 1)(q - 1) = 6 \times 12 = 72$$

4. e を 大きすぎず、小さすぎない、
 $\phi(n)$ と互いに素な値に設定する
(65537 がよく使われる)

$$e = 5$$

5. $d = e^{-1} \pmod{\phi(n)}$ を求める

$$d = 29$$
$$ed = 5 \times 29 = 1$$

$$n = 91$$

$$e = 5$$

$$d = 29$$

$$m = 5$$

$$c = 31$$

なぜ素因数分解されると危ないのか？

1. 2つの素数 p, q を作る

2. $n = p \times q$ とする

3. $\phi(n) = (p - 1) \times (q - 1)$ を求める

4. e を 大きすぎず、小さすぎない、
 $\phi(n)$ と互いに素な値に設定する
(65537 がよく使われる)

5. $d = e^{-1} \pmod{\phi(n)}$ を求める

n から p, q が分かると

$$n = 91$$

$$e = 5$$

5 番まで
成立してしまう!!!

RSA 暗号まとめ

RSA 暗号は、意外と簡単に作れる！

今日紹介したのは PlainRSA といって、最近は使われてない
よく使われてるのは
RSA-OAEP というもうちょい複雑なやつ

暗号化	$c = m^e \bmod n$	公開鍵：(e, n)
復号	$m = c^d \bmod n$	秘密鍵：(d, n)

RSA 暗号まとめ

RSA 暗号は、 **n の素因数分解が難しい**ということと
離散対数を求めるのが難しい仮定のもとで、成立
している

公開鍵は、公開する用の鍵！

秘密鍵は、秘密にするような鍵！

入れ替えちゃだめ！

素数生成に関する問題

99 個の 9 を含む素数を一つ生成してください。

<https://github.com/kurenaif/kurenaifCTF/tree/master/ninety-nine>

RSA 暗号の作り方の復習

p, q, n, e, c が与えられるので、平文 m を復号してください。

https://github.com/kurenaif/kurenaifCTF/tree/master/rsa_basic

RSA 暗号の典型 CTF 問題

難易度順とは限らないよ！

CTF では自分で全部実装する必要はないから、難しそうだったら
世の中にあるツールを使って解いてみてね！

https://github.com/kurenaif/kurenaifCTF/tree/master/rsa_1

https://github.com/kurenaif/kurenaifCTF/tree/master/rsa_2

https://github.com/kurenaif/kurenaifCTF/tree/master/rsa_3

https://github.com/kurenaif/kurenaifCTF/tree/master/rsa_4

https://github.com/kurenaif/kurenaifCTF/tree/master/rsa_5